

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立萩中小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童の考えや思いを引き出しながら単元計画を設定することで、児童が主体的に学習に取り組むことができた。
- ・学級全体やグループ、ペア等、積極的に自分の思いや考えを伝える場を設定することで、他者との関わりから活動に対する意欲を高めることができた。
- ・世話をした植物や生き物の小さな変化を見逃さず、友達と声を掛け合ったり比べたりしながら楽しんで活動に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・児童一人一人が自由に考えたり、表現したりできるような教材の準備や場の工夫に課題がある。
- ・体験を楽しんだ後の学びを深めたり、活動を振り返る中で自分自身の成長に気付かせたりするための支援が必要である。
- ・気付きや振り返りのまとめ方に個人差が大きく、苦手な児童への支援が必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○タブレットのデジタルコンテンツを活用し、視覚的に理解が深まるよう、工夫する。 ○体験を充実させるとともに、活動から得た気付きを基に考える時間を確保し、学習が体験活動のみで終わらないようにする。	○観察では、色、形、大きさ、数などの視点を示すだけでなく、児童が自分の思いを自由に表現できるような教材を準備したり、場の設定を工夫したりする。 ○単元の目標に応じて表現方法を複数例示し、児童の自己決定を促す。	○他教科で学習した表現方法などを活用していくことで、児童が見通しをもって学習に臨み、より主体的に学習に取り組めるようにする。